

# みんなのけんこう

一般社団法人 長野県医師会 長野市大字三輪1316番地9 TEL.026-219-3600 <http://www.nagano.med.or.jp/>

vol.80

令和3年8月発行

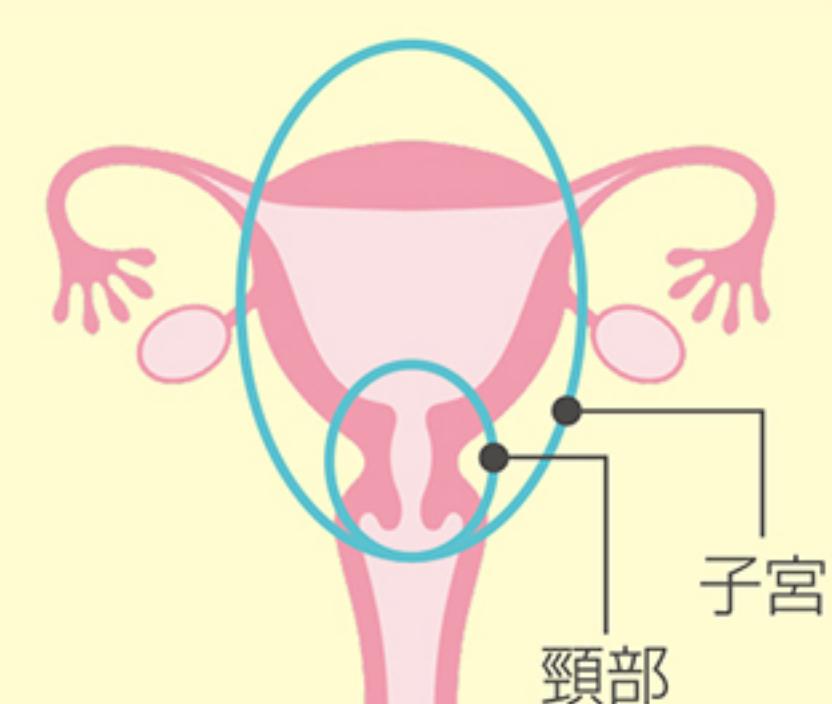
## 安全ピラミッドの頂点に立つ 子宮頸がんワクチンと定期検診で、 予防と早期発見・治療が可能に！

子宮頸がんの患者数・死亡者数とも、近年、増加傾向にあります。とくに、20～40歳の若い世代での増加が問題となっています。しかし、子宮頸がんは、「ワクチン接種」と「定期検診」によつて、高率に予防と早期発見・治療が可能なのです。



### 「子宮頸がん」ってどんな病気？

子宮頸がんは、子宮の頸部という子宮の出口に近い部分にできるがんです。子宮頸がんは、若い世代の女性のがんの多くを占め、患者は20歳代から増え始めて、40歳代で最も多くなっています。手術が必要な段階で見つかると、子宮の頸部を切り取ることで妊娠したときの早産のリスクが高まったり、子宮全体を失うことで妊娠できなくなったりします。



# 知りておきたいトピックス



## HPVワクチンのリスクについて

HPVワクチン接種後に、接種部位の痛み、赤みなどが起こることがあります。まれですが、重い症状（重いアレルギー症状、神経系の症状）が起こることもあります。因果関係が不明なものや、接種後すぐに回復した症状も含めて、HPVワクチン接種後に生じた症状として報告があったのは、接種1万人あたり約9人。

## 健康被害が起きたときは

HPVワクチンに限らず、すべてのワクチンについて、ワクチン接種によって医療機関での治療が必要になったり、生活に支障が出るような障害が残るなどの健康被害が生じた場合は、法律に基づく救済（医療費・障害年金等の給付）が受けられます。予防接種による健康被害については、お住まいの市町村の予防接種担当部門にご相談ください。

## ワクチン接種の注意点

HPVワクチンは、筋肉注射という方法で、腕や太ももに接種します。注射針を刺した直後から強い痛みやしびれを感じた場合は、すぐに医師にお伝えください。また、痛みや緊張等によって、接種直後に一時的な失神や立ちくらみ等が起こることがあります。接種後30分程度は安静にしてください。接種を受けた日は、激しい運動は控えましょう。

## まずは医師に相談

接種後に体調の変化が現れたら、まずは接種を行った医療機関などの医師にご相談ください。HPVワクチン接種後に生じた症状についての協力医療機関（市町村間相互乗り入れ制度検診医療機関）が長野県内には91あります（令和3年度）。協力医療機関の受診は、接種を行った医師またはかかりつけの医師にご相談ください。

■KHF■  
体に  
安心  
エネルギー&たんぱく質  
**えねぱくゼリー**

エネルギー&たんぱく質  
**えねぱくゼリー**

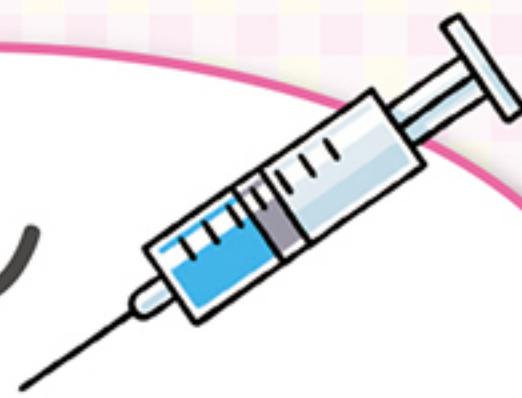
エネルギー 125kcal  
たんぱく質 5g  
ほどよいまとまり  
離水が少ない

果汁を使い\*フルーツの香りでさっぱり!

\*1個当たり2.4~3.0%の果汁を使用しています。

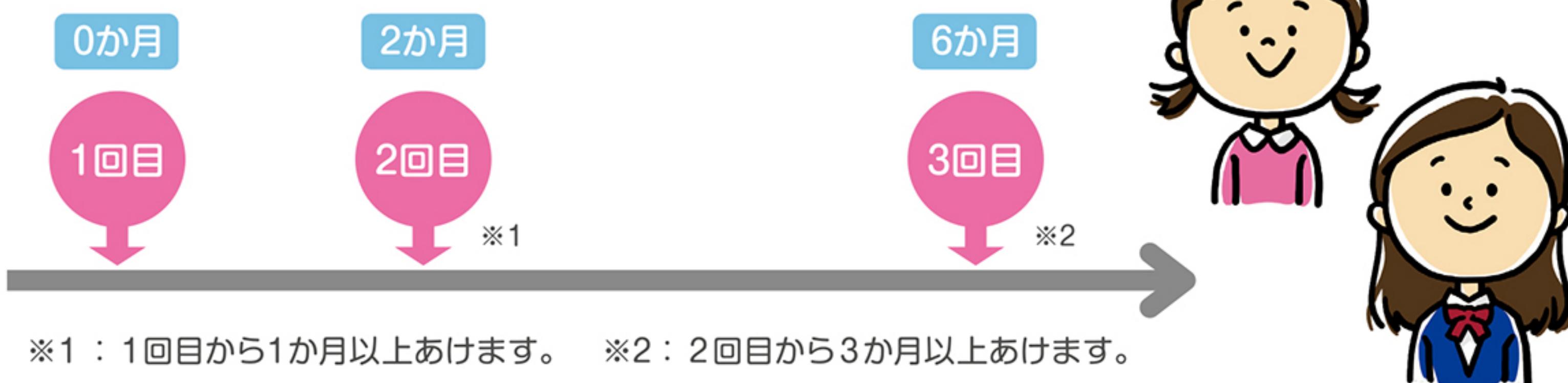
(画像はイメージです)

## ワクチン

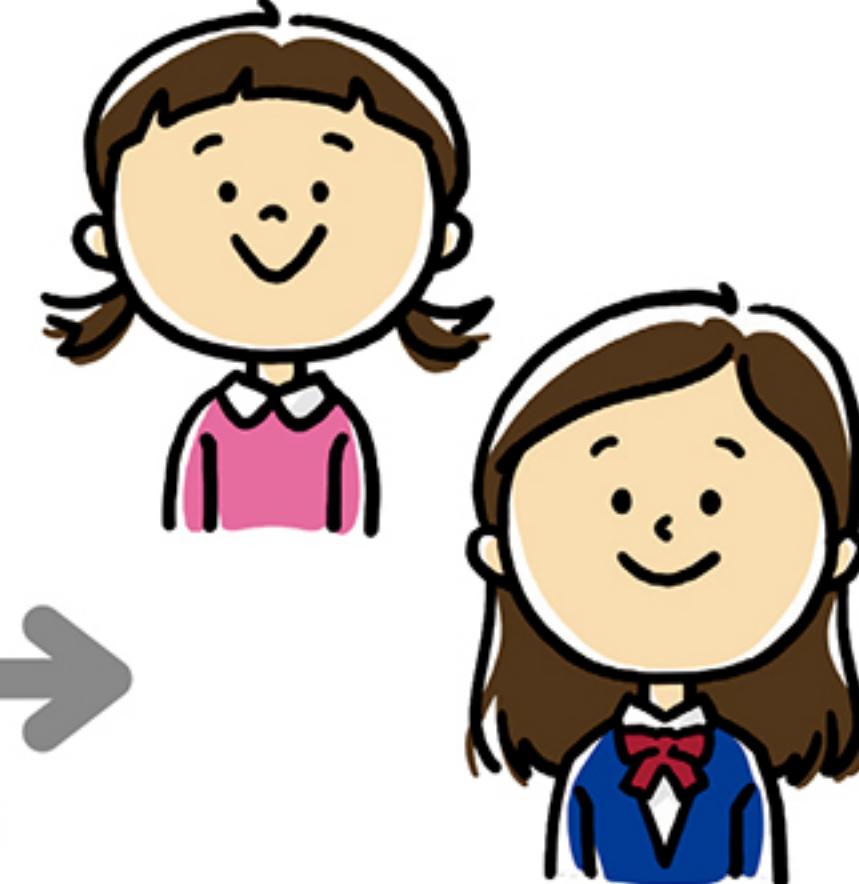


### ワクチン接種が、子宮頸がんの原因となるHPV感染を抑えます。

HPVワクチンの定期接種は、小学校6年～高校1年相当の女子です。4価ワクチン（ガーダシル®）は、間隔をあけて合計3回接種します。



※1：1回目から1ヶ月以上あけます。 ※2：2回目から3ヶ月以上あけます。



※ワクチンは、すでにHPVに感染している場合や、対象外の型のHPVには予防効果はありません。

※ワクチンの接種は、小学6年生（12歳）になる年度の4/1から、高校1年生相当（16歳）となる年度の3/31までです。

初交前に接種することで大きな予防効果が期待できます。接種対象となる期間での接種は無料となります（標準的な接種の時期は中学1年生の間）。

※未感染時の接種（14歳程度の初交前）で有効であり、初回性交渉前の接種をおすすめします。遅くとも18歳程度までに接種してください。世界保健機関（WHO）などの推奨を受けて、現在100カ国を超える国で接種されています。

（厚生労働省 子宮頸がん対策パンフレット2020年詳細版より）

## 定期検診



### ワクチンを接種していても、していなくても、 20歳になつたら2年に1回、必ず子宮頸がん検診を受けましょう。

20歳になつたら、子宮頸がんを早期発見するため、子宮頸がん検診を以後定期的に受けることが重要です。検診では、前がん病変（異形成）や子宮頸がんがないかを検査します。

国や市町村が発行するがん検診受診クーポン券や職場が行うがん検診を積極的に利用しましょう。長野県内では多くの市町村が「市町村間相互乗り入れ制度」に参加しており、お住まいの市町村以外の医療機関でもがん検診を受診できます。

※クーポン券（無料または少額で受診）の配布を行っていない市町村もあります。また、クーポン券配布対象者は、市町村によって異なります。



## 子宮頸がんにかかる仕組み (厚生労働省ホームページより)

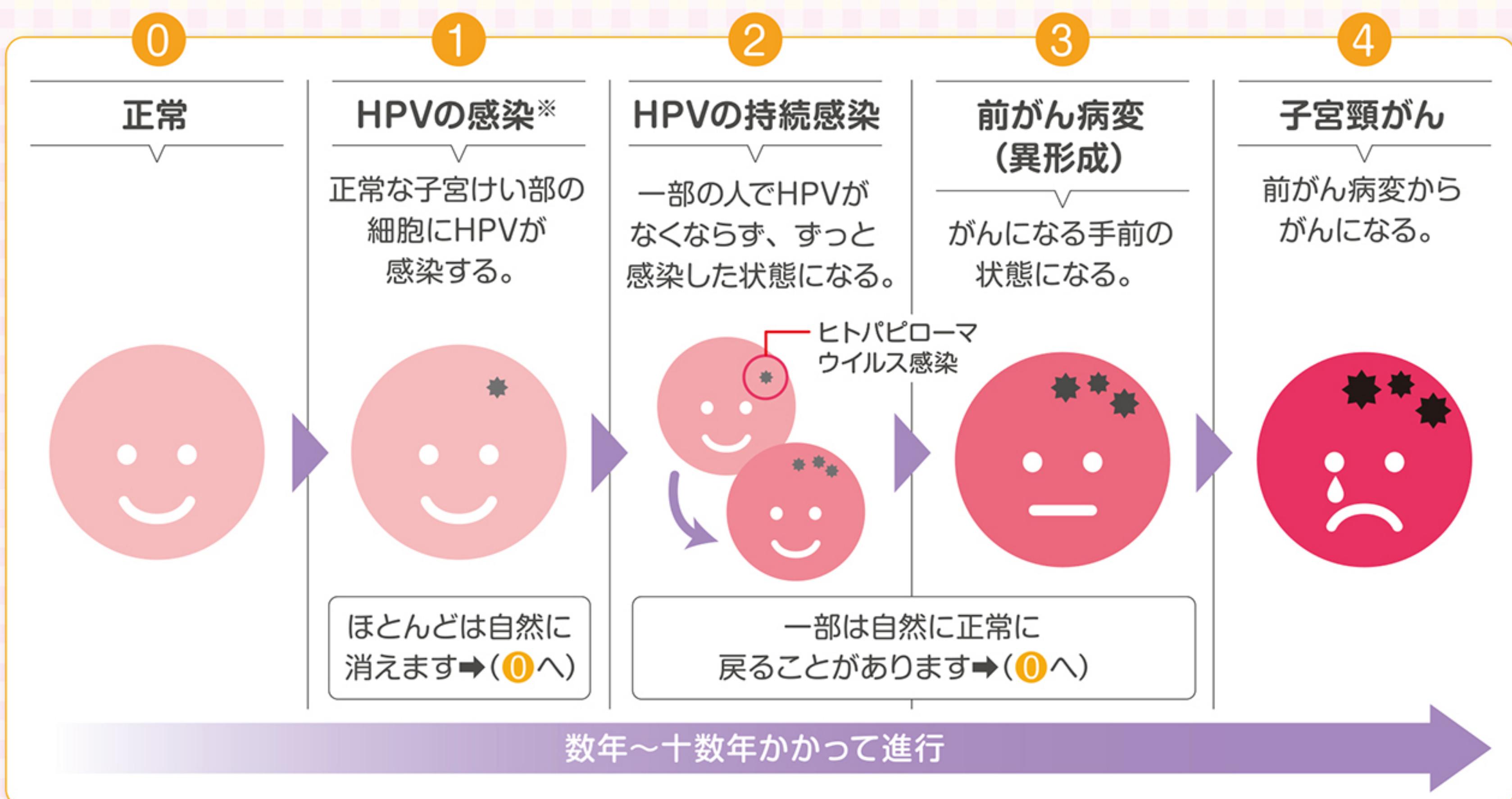
子宮頸がんは、そのほとんどがヒトパピローマウイルス (HPV) というウイルスに感染することによって生じます。HPVはだれでも感染する可能性がある、ごくありふれたウイルスです。

HPVには200種類以上のタイプ（遺伝子型）があり、そのうち子宮頸がんの原因となるタイプが、少なくとも15種類あることが分かっています。これらはハイリスク型（発がん性）HPVと呼ばれ、なかでも16型と18型が、子宮頸がんの原因の50～70%を占めています。



## 子宮頸がんの進行 (厚生労働省ホームページより)

HPVに感染しても、すぐにがんになるわけではありません。ほとんどが自然に消えてしまいますが、一部の人でHPVにずっと感染した状態になり、さらにその一部の人で手術などの治療が必要な状態（前がん病変（異形成）→子宮頸がん）に進みます。これらは、数年から十数年かけてゆっくり進行します。また、HPV感染は一生のうち何度も起こります。



## 国内子宮頸がんワクチン接種後の予防成績 (2021年度 日本産婦人科学会学術講演会より)

ワクチンの有効性安全性のエビデンスは、安全ピラミッドの頂点に立っています。

1994年生まれ（公費接種済世代）が、2014年に20歳となりました。このワクチン接種済世代に、子宮頸がん予防の評価が86.2%の減少と、極めて良好な検診結果が出ています。

くわえて、スウェーデンからの報告によると、対象人口167万の疫学調査で、30歳前のワクチン接種で浸潤癌が63%減少、16歳前のワクチン接種で浸潤癌が88%減少との報告もあります。

今世紀末までに、世界各地で子宮頸がん撲滅のカウントダウンが進行中です。